

簡単に作れるピペットスタンド —安全な実験のために—

前のクラスの授業が終わった後、実験台が濡れていることがある。

このとき、水で濡れているのか、塩酸などの水溶液で濡れているのか、分からない。

実験の最後には、必ず雑巾で机をふかせることを徹底したい。

また、水溶液が付着したままのガラス棒やピペットを実験台に直接置かせないようにすることを目的として、ガラス棒やピペットを置くことができるピペットスタンドをつくらせることを検討した。

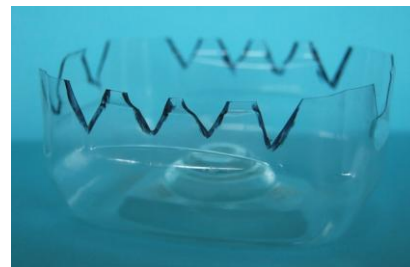
今回は、児童生徒が簡単に作れるペットボトルを用いたスタンドを作成してみた。

自分たちで作らせることで、安全について、より意識を高めさせたい。

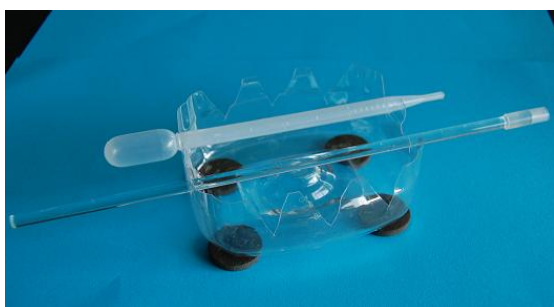
作り方

① 2Lのペットボトル（スポーツ飲料やお茶：底が比較的硬いもの）の底の部分を約5cmの高さに切る。

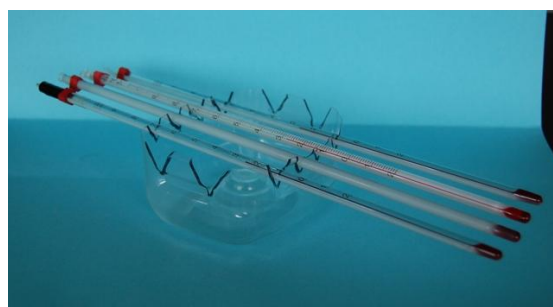
② 切れ込むV字を左右対象の位置にマジックで書く。それに沿ってはさみで切れ目をV字に入れる。



③ ペットボトルの底に、床キズ防止の滑り止め（100円ショップ 24個入り）を4個取り付けて、実験台の中央に置いて使うように指導する。



ガラス棒とスポイト



アルコール温度計



駒込ピペット